



自衛隊神奈川地方協力本部

P-3C 体験搭乗および厚木航空基地施設見学

カレッジ防衛モニター 永井 健太

平成27年7月25日、神奈川地方協力本部P-3Cの体験搭乗に参加し、海上自衛隊第3航空隊哨戒機P-3Cの体験搭乗、および、厚木航空基地の施設見学をしました。今回は第4期カレッジ防衛モニターの2回目の活動であり、前回の潜水艦見学ツアーと同じく海上自衛隊の任務について学びました。海上自衛隊第3航空隊は、厚木航空基地を拠点とする哨戒機P-3Cで編成された部隊であり、日本の領海を侵犯する潜水艦の警戒・監視活動を主とした、日本周辺海域の海上防衛を任務としています。また、厚木航空基地は米海軍と海上自衛隊が共同で使用している基地であり、航空管制は海上自衛隊が行っています。国土を海に囲まれている日本にとって、海の防衛は非常に重要であり、潜水艦と同様に哨戒機は国防の最前線で任務に就いています。特に近年は周辺諸国の潜水艦の活動が活発になってきていることもあり、哨戒機による警戒・監視活動はとても重要です。

さて、当日のスケジュールは、初めに第3航空隊の概要説明を受け、次に管制塔の見学をし、そして最後にP-3C体験搭乗の流れでした。体験搭乗の飛行ルートは、厚木航空基地を離陸後、相模湾上空で進路を西へ変えて真鶴上空と江の島上空を経て、基地へ着陸するルートでした。当日は天候も良く、視界も良好で風も穏やかでした。そのため、地上の街並みや海上の船もはっきりと見ることができました。機内では隊員の方による機器の説明や、任務の内容についてなど、様々な質問に関してわかりやすく丁寧に教えていただきました。実際に任務に就いている航空機に乗り、隊員の方のお話を伺うことができたことで、海上自衛隊の哨戒機による警戒・監視活動についてとても詳しく学ぶことができ、この任務の重要性を痛感しました。また、大学で航空機について学んでいる私にとって、海上自衛隊の航空機の機体や機器について学ぶ良い機会になりました。

今回のP-3C体験搭乗という貴重な経験を通して、哨戒機の任務について詳しく知ることができたとともに、その重要性を学ぶことができました。また、前回の潜水艦見学ツアーと今回のP-3C体験搭乗の2つの経験を通して、国防の最前線における海上自衛隊の任務について理解を深めることができ、日本の海の防衛の重要性を痛感しました。今後も防衛モニターとしての活動を通して、自衛隊の様々な任務やその役割について理解を深めていきたいです。

P-3C 体験搭乗に参加して

カレッジ防衛モニター 西山 望

カレッジ防衛モニターとして2回目の活動が海上自衛隊厚木航空基地に所属している第3航空隊のP-3Cの体験搭乗でした。厚木航空基地の歴史は古く、昭和16年まで遡ります。

当時、厚木航空基地は旧日本海軍厚木飛行場と呼ばれ艦載機訓練場として計画し整備がされ、本土防衛の主要基地として役割を果たしていました。また、昭和20年8月30日にダグラス・マッカーサーが降り立った土地がこの厚木航空基地だそうです。歴史の一部でもある厚木航空基地の存在に感動を覚えました。

神奈川県にある厚木航空基地は青森県にある三沢基地、山口県にある岩国航空基地、日本に3カ所ある日米共同使用基地の一つでもあります。実際の基地の中も小さなアメリカが其処にあるような、横須賀の米軍基地のそれと良く似ていました。また、厚木航空基地は硫黄島や南鳥島の基地を維持・管理もしています。

P-3Cとは日本周辺海域の海上防衛を担う哨戒機であります。最高速度は760km/h、です。今回はこの哨戒機に搭乗させていただきました。私自身、民間用飛行機である旅客機や、大学所有のグライダーなどの搭乗経験はありましたが、今回ほどの衝撃を受けたフライトは初めてで、何よりも空を飛んでいるという感覚がひしひしと伝わって来ました。当日は厚木航空基地から伊豆方面までのフライトでしたが、幸運にも上空から自宅が見ることが出来たので非常に貴重な経験が出来たと思います。

私は元来海上自衛隊志望であり艦艇勤務希望でしたが、今回のモニター活動を通して海上自衛隊にも様々な部隊があるのだと知りました。これからの将来の事もモニター活動を通じて考えて行けたら良いです。

P3C 体験搭乗

カレッジ防衛モニター 増田 知剛

今回P-3Cの搭乗は僕の好きな航空機だったのでイベント前からとても楽しみにしていました。さらに、普段は入れない米軍基地に2度目の入場ができるというのも、それを後押ししていました。いざ搭乗となり航空機の隣まで移動。P-3Cは思ったより少し小さく、エンジン音は想像よりも大きな音でイヤーマーフをしていないと頭が痛くなるくらいでした。

タラップを登り機内へ、中は意外と広く冷房も効いていてとても快適。僕は後部の座席へ座らせてもらい隊員の方からP-3Cの機体や機械について丁寧に説明をして頂きました。その後はコックピットを見せてもらい、P-3Cのタッチアンドゴーをコックピットにしながら体験できるという、普段は絶対に体験できない貴重な事もさせてもらいました。パイロットの方も気さくでいろいろな事を話してくれました。

この体験搭乗は、自衛隊の航空機に乗るのが初めての自分にとってはとても衝撃的で貴重な体験になりました。防衛モニターとしてこれからもこのような貴重な体験ができることを感謝しています。